

「あいち無料公衆無線LAN推進 協議会」の設立について

平成27年7月1日

愛知県振興部情報企画課



無料公衆無線LANの必要性

①

■ 訪日外国人観光客が増大している中、訪日外国人にとって日本滞在中にあると便利な情報は、無料Wi-Fiが第1位の53%となっています。

日本滞在中にあると便利な情報



無料公衆無線LANは海外では当たり前時代



世界と闘える愛知としては、無料公衆無線LANは必須のアイテム



■特長

- ① 世界共通どこでも使えるデファクトスタンダード
普段使っている端末が、世界中のWi-Fiスポットで利用できます。
- ② サービスエリアはスポットだが高速
利用エリアは狭いが、高速・大容量の通信が可能です。
(LTEは150Mbps、Wi-Fiは最速で1.3Gbps)
- ③ 携帯電話会社等の契約者でなくても、誰もが簡単に接続
利用開始手続きには、メールアドレスの登録や、パスワードの入力、
アプリケーションのダウンロード、専用電話番号への電話によるパスワード
取得などがあります。

■導入目的

- ① 観光振興
- ② 防災対策
- ③ 住民サービスの向上



- 愛知県では、観光を新たな戦略産業の柱と位置付け、2015年を「あいち観光元年」と宣言しました。無料の公衆無線LANは外国人観光客のニーズも高く、その環境の整備は、国内外からの観光集客にもつながるものです。
- そこで、県では、昨年度開催した「あいち地域フリーWi-Fi推進のための勉強会」を発展させ、県内での整備促進等を図るため、官民の連携組織である「あいち無料公衆無線LAN推進協議会」を設立することとしました。

①観光施策の推進

交通・宿泊・観光拠点等に「おもてなし」環境の整備として無料公衆無線LAN環境を整備することで、訪日外国人や観光客を誘引し、地域全体の活性化を目指します。

②防災対策

避難場所等の防災拠点に耐災害性の高い無料公衆無線LAN環境を整備することで、地域の安全・安心な環境を構築します。

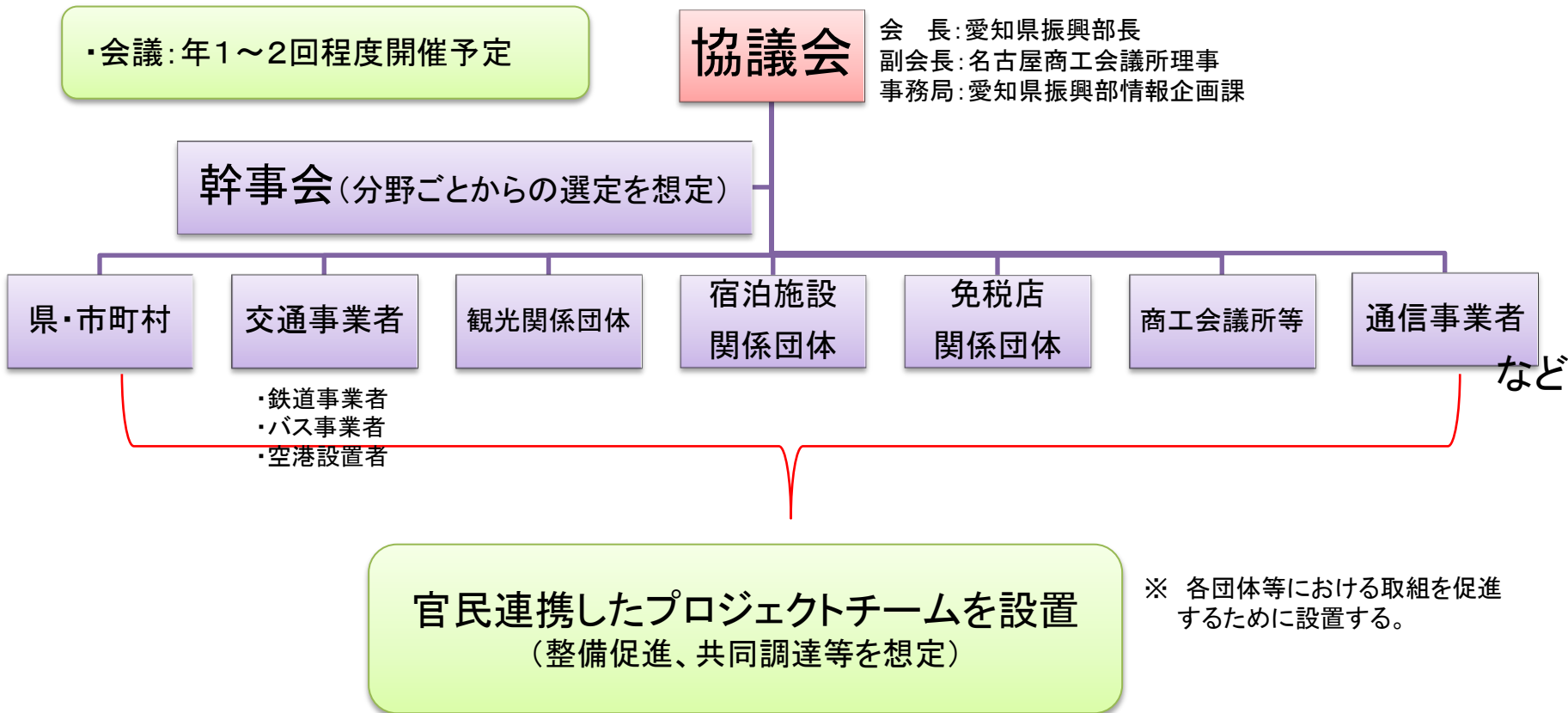
③住民サービスの向上

住民窓口や利便施設など公的施設に無料公衆無線LAN環境を整備することで、来訪者の利便性の向上や住民への情報提供サービスの充実等を目指します。



協議会組織体制

■ 民間のノウハウや創意工夫を活かした持続可能な公衆無線LAN環境の整備促進等を図るため、官民の連携組織とします。





■無料公衆無線LAN環境の整備促進

- ・宿泊施設や観光施設等における民設民営での整備を促進します。また、各種補助制度の活用や公共施設等民間での整備が進みにくい施設等に係る自治体への整備の働きかけを行っていきます。
- ・観光施策の推進や防災対策、住民サービスの向上を図るため、県内全域での整備を促進します。

■無料公衆無線LAN環境の周知・広報・利便性の向上

- ・県事業によるポータルサイトを活用して、無料公衆無線LANの設置場所の周知や、地域情報を発信していきます。
- ・国の動向を注視しながら、利用開始手続きの簡素化・統一化を目指します。

■無料公衆無線LAN環境の導入事例の紹介

- ・民間での整備が進みにくい施設等への導入事例や、持続性のある整備事例等の紹介を行います。

■無料公衆無線LAN環境により収集したデータの利活用による観光振興・地域づくり

- ・将来的に、無料公衆無線LAN利用者に関する収集したデータ(行動経路ログなど)を、オープンデータとして提供することについて検討し、実現を目指します。



■昇龍道プロジェクトとの連携

昇龍道プロジェクトとの情報の共有化、昇龍道事業（海外からのインバウンドの推進のための受入環境整備）との連携

■国の無料公衆無線LAN整備促進協議会事業の県内への波及

国の共通シンボルマークの推進
国のウェブサイトへの掲載推進

※ Japan.Free Wi-Fiの共通シンボルマーク

国の共通シンボルマークの推進



URL:<https://tax-freeshop-wifi.jnto.go.jp/wifi/agent/login.php>